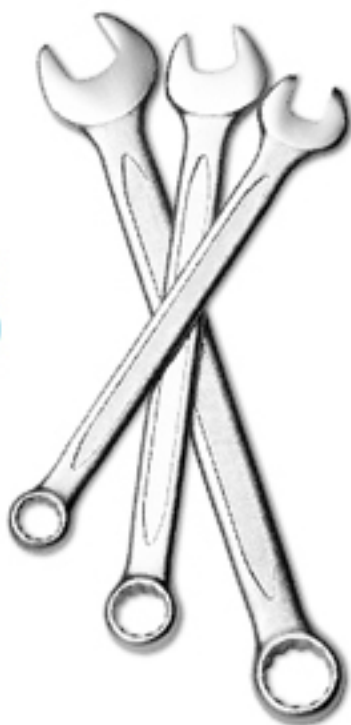


# HDE Controller<sup>®</sup> 5

Web-based Administration Software for Linux Servers

バーチャルドメイン運用ガイド

■ISP Edition



本マニュアルは、製品の改良等により予告なしに変更される場合があります。

HDE および HDE Controller は、株式会社 HDE の登録商標です。

本マニュアルに記載されている社名、団体名および製品名は、各社あるいは各団体の商標または登録商標です。

PDF ファイルからの印刷による場合のみ、本マニュアルを複製することができます。これ以外に本マニュアルおよび本マニュアルの印刷物を複製、譲渡、貸与、翻案、翻訳または公衆送信することはできません。

本マニュアルの無断転載を禁じます。

© 2008 株式会社 HDE

# 目次

マニュアルの読み方 .....	7
<b>第 1 章 バーチャルドメイン利用時のサーバー設定</b> .....	<b>9</b>
1. バーチャルドメイン運用ガイドの読み方 .....	10
■ バーチャルドメイン運用ガイドの読み方 .....	10
2. 利用するマシンの設定概要 .....	11
■ 管理画面へのアクセス .....	11
3. ネットワークの基本設定 .....	13
■ 一般設定 .....	13
4. メールサーバーの設定 .....	17
■ 基本設定 .....	17
■ アクセス制御 .....	18
■ スпам拒否設定 .....	18
■ 宛先不明メール設定 .....	18
5. Webサーバーの設定 .....	19
■ バーチャルドメインのユーザーにCGI/SSIを許可するには .....	19
■ suEXECを利用するには .....	19
■ .htaccess(分散設定ファイル制御/AllowOverride)を利用するには .....	19
6. DNSサーバーの設定 .....	20
■ ドメイン追加 .....	20
7. FTPサーバーの設定 .....	23
■ 基本設定 .....	23
<b>第 2 章 バーチャルドメインの作成</b> .....	<b>25</b>
1. 概要 .....	26
2. バーチャルドメインの作成 .....	27
■ バーチャルドメイン基本情報の設定 .....	27
■ テンプレート使用の選択 .....	29
■ 使用サービスの設定 .....	30
■ 各種制限の設定 .....	32
■ サービス毎の基本設定 .....	33
■ ネームサーバーへ追加するレコードの確認 .....	35
■ サブドメインの追加 .....	36

3. バーチャルドメインの管理 .....	37
■ バーチャルドメインの変更 .....	38
4. バーチャルドメイン管理画面のアクセス .....	39
5. Webサーバーの管理 .....	41
■ Webサーバー設定 .....	41
■ CGI/SSIの設定について .....	42
■ .htaccess(分散設定ファイル制御/AllowOverride)を利用するには .....	42
■ ディレクトリ認証について .....	42
■ アクセス統計について .....	43
■ 鍵と証明書 (SSL) 設定 .....	43
6. メールサーバーの管理 .....	45
■ スプール容量制限 .....	45
■ スプール容量制限一括設定 .....	46
■ エイリアス設定 .....	47
■ 宛先不明メール転送設定 .....	48
7. メーリングリストの管理 .....	49
■ メーリングリストの作成 .....	50
■ メーリングリストの削除 .....	53
8. DNSサーバーの管理 .....	54
9. FTPサーバーの管理 .....	56
■ 基本設定 .....	56
■ Anonymous FTPの設定 .....	57
■ incomingディレクトリの設定 .....	57
10. ユーザーの管理 .....	58
■ ユーザーの追加 .....	58
■ ユーザーの編集・削除 .....	61
■ アクセス権限設定 .....	62

## 第3章 バーチャルドメインユーザー機能 65

1. 概要 .....	66
■ 各サービスについてのクライアントソフト設定情報 .....	66
■ 管理画面へのアクセス方法 .....	67
2. 個人情報管理 .....	69
■ ログインパスワード .....	69
■ 詳細設定 .....	70
■ メール転送 .....	70

■ メールパスワード.....	71
■ 自動メール返信設定.....	72
■ バックアップ/復元.....	73
■ ユーザーステータス.....	74
3. ユーティリティ.....	75
■ ファイルマネージャー.....	75
■ ファイルのパーミッションを変更するには.....	79
4. HDE Controller設定.....	80
■ お気に入り.....	80
5. CGIインストール.....	82
■ CGIインストール.....	82
■ CGI管理.....	84



## マニュアルの読み方

このマニュアルについて

『HDE Controller 5 バーチャルドメイン運用ガイド』では、実際の表示画面に従い、各機能・項目を実際の運用に即した形で説明しています。

説明内で、注意すべき点、語句について補足が必要な点などについては、注釈を設けています。標準機能についての説明とお客様のネットワークの構成に応じて設定するオプション機能についての説明で構成されています。



説明中、注意すべき点がある場合は、注意マークや黒枠での注意書きにて、注意を促しています。



HDE Controller 5 を使用する上で参考になる項目については、「ヒント」アイコンがついています。





# HDE Controller 5

## 第 1 章 バーチャルドメイン利用時のサーバー設定

### 1. バーチャルドメイン運用ガイドの読み方

#### ■ バーチャルドメイン運用ガイドの読み方

当運用ガイドは大きく3つの章に分かれています。「2. マシンの設定」では、バーチャルドメインを作成するために必要なマシン及び各サービスの基本的な設定について記述されています。「3. バーチャルドメイン」では、バーチャルドメインの作成・管理方法からバーチャルドメイン管理者が行う各サービスの設定・運用方法について記述されています。「4. バーチャルドメインユーザー」では、バーチャルドメインのユーザーが管理画面から行える事について記述されています。なお、各設定項目の詳細な入力方法等につきましては、パッケージに同梱されているマニュアル及びオンラインマニュアルに記載されておりますので、そちらもあわせてご参照いただけるよう、お願いします。

なお、当運用ガイドは主に名前ベースのバーチャルドメインについて記載されていますが、IP ベースのバーチャルドメインにつきましても同様に設定行ってください。IP ベースまたは名前ベースのバーチャルドメイン独自の箇所につきましては、文中の注意書きに従ってください。

## 2. 利用するマシンの設定概要

HDE Controller をご利用いただく際に必要なマシン側の設定についてご説明します。HDE Controller では、各種設定を行う際に必要な情報をマシンの設定情報から利用します。

バーチャルドメインの設定を行う前に以下の情報についてご確認ください。

- マシンの IP アドレスの確認

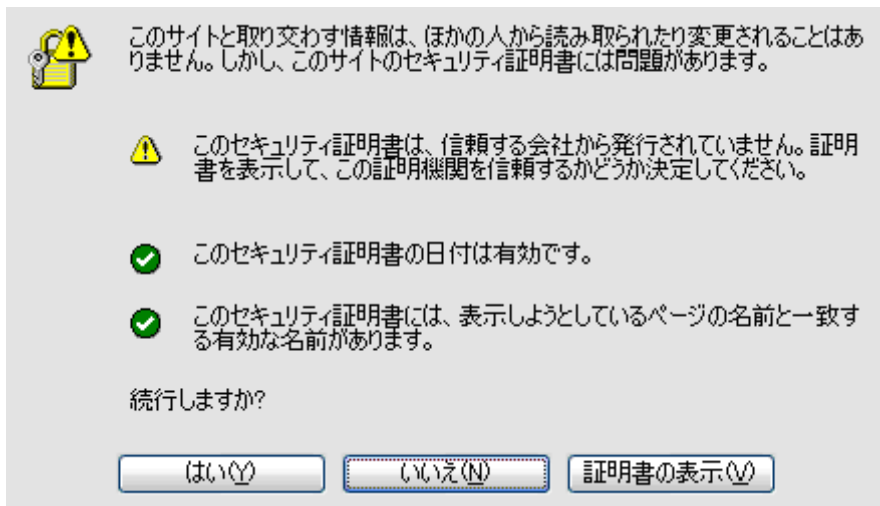
ネットワークカードを 2 枚ご利用の場合、HDE Controller は自身の設定情報として eth0 の IP アドレスを利用しますので正しく設定が行われているかをご確認ください。

- ディスクパーティションの確認

これから設定する各バーチャルドメインに対してディスク容量制限を行う場合は /home を独立して設定しておく必要があります。また、/ や /usr に対しても HDE Controller が一時ファイルを作りますので配慮してください。

### ■ 管理画面へのアクセス

管理者が管理画面にアクセスするには、対応ブラウザにて以下の URL にアクセスします。  
`https://ホストの FQDN または IP アドレス]:16590/`



The image shows a security warning dialog box with a yellow warning icon and a key icon. The text inside the dialog reads: "このサイトと取り交わす情報は、ほかの人から読み取られたり変更されることはありません。しかし、このサイトのセキュリティ証明書には問題があります。" Below this, there are three items: a yellow warning icon with the text "このセキュリティ証明書は、信頼する会社から発行されていません。証明書を表示して、この証明機関を信頼するかどうか決定してください。", a green checkmark with the text "このセキュリティ証明書の日付は有効です。", and another green checkmark with the text "このセキュリティ証明書には、表示しようとしているページの名前と一致する有効な名前があります。" At the bottom, it asks "続行しますか?" and provides three buttons: "はい(Y)" (Yes), "いいえ(N)" (No), and "証明書の表示(N)" (Show Certificate).

セキュリティ警告画面が表示されますので、「はい」をクリックして続行します。

認証ダイアログには以下のように入力します。

## 第 1 章 バーチャルドメイン利用時のサーバー設定

ユーザー名	root
パスワード	root のパスワード

### 3. ネットワークの基本設定

基本的な設定は、OS インストール時に終了していますのでここでは、現在の設定について HDE Controller を利用して確認及び設定をおこないます。このガイドでは、バーチャルドメインの作成に重点をおいていますので、ルーティングの設定やポートフォワーディング設定につきましては、別冊の「ユーザーマニュアル」をご参照ください。

#### ■ 一般設定

#### ● 基本設定

マシンのホスト名、ドメイン名、ネームサーバーを設定することができます。

基本設定   ネットワークカード設定   ゲートウェイ設定

基本設定

ホスト名とドメイン名を設定します。  
ホスト名とはこのサーバーの名前です。(例: host01)  
ドメイン名はネットワークにつけられる名前です。(例: example.com)  
また、名前解決に利用するネームサーバーを3つまで指定することができます。

⚠ 設定内容は、コンピューターの再起動後に有効になります。

ホスト名	sample
ドメイン名	example.com
ネームサーバー 1 ?	192. .4
ネームサーバー 2 ?	192. .2
ネームサーバー 3 ?	
ドメイン検索リスト ?	example.com

設定する

## 第 1 章 バーチャルドメイン利用時のサーバー設定

ネームサーバーの項目では、このマシン上に DNS サーバーを設定する場合は必ず、マシン自身をネームサーバー1に設定をしてください。例)127.0.0.1 等

### ● ネットワークカード設定

マシンのインストールされているネットワークカードが表示されます。  
ネットワークカードの情報を確認したり、変更するには編集したいネットワークカードの「編集ボタン」をクリックします。  
ネットワークカードの設定画面が表示されますので表示されている情報について編集することができます。

ネットワークカード	IPアドレス	アクション
eth0	192.168.	



バーチャルドメイン設定後は、IP アドレスの変更をおこなわないでください。

### ● ゲートウェイ設定

マシンがゲートウェイとする IP アドレスやゲートウェイへのマシン側のデバイスの情報を編集することができます。  
IP 転送及び IP マスカレードは、ネットワークカードが 2 枚インストールされている場合に有効にすることが可能です。

### ● IP エイリアス設定

IP ベースのバーチャルドメインを設定する場合には、割り当てる IP アドレスをサーバーに対して IP エイリアスとして設定しておく必要があります。

IP エイリアスの追加をするには、IP エイリアスを追加したいネットワークカードを選択して「追加ボタン」をクリックしてください。



IP エイリアスに利用する IP アドレスは、グローバル IP アドレスを推奨します。

#### IPエイリアスの設定

ここではIPエイリアスの設定を行います。IPエイリアスは、一つのネットワークカードに、複数のIPアドレスを割り当てる場合に利用します。  
IPエイリアスで新たにIPアドレスを追加したい場合は、「IPエイリアスの追加」で追加したいネットワークカードを選択した後「追加」ボタンを押してください。

 設定内容は、コンピューターの再起動後に有効になります。

ネットワークカード	IPアドレス	アクション
-----------	--------	-------

#### IPエイリアスの追加

IPエイリアスを設定したいネットワークカードを選択し、「追加」ボタンをクリックし設定を編集してください。デバイス名は自動的に付与されます。

eth0 ▼

 追加

設定する

## 第1章 バーチャルドメイン利用時のサーバー設定

ネットワークカード設定画面になりますので、以下のように設定します。

IPエイリアスの設定

ネットワークカード設定

ネットワークカード eth0:0 の設定を行います。  
IPアドレス (例:192.168.0.10)やネットマスク (例:255.255.255.0)はこのコンピューターを識別するための重要な情報になります。

⚠ IPアドレスが他のコンピューターと重複してしまったり、ネットマスクが異なっていると正常に通信ができませんので、慎重に設定してください。入力項目がわからない場合は、ネットワーク管理者に相談してください。

起動時設定

IPアドレス取得

IPアドレス

ネットマスク

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

起動時設定	はい
IP アドレス取得	手動で設定
IP アドレス	IP エイリアスに割り当てる IP アドレス
ネットマスク	IP エイリアスに割り当てるネットマスクアドレス

設定を入力したら、「OK」ボタンをクリックします。

IP エイリアスの追加画面になりますので、「設定する」ボタンをクリックしてください。

設定が完了すると、設定をおこなったネットワークカードと IP アドレスが表示されます。

修正したい場合は、該当するネットワークカードの「編集」ボタンをクリックしてください。

## 4. メールサーバーの設定

HDE Controller をインストールした直後の状態では、メールサーバーとしての設定が不足していますのでメールサーバーの設定をおこない、必要な情報を設定する必要があります。

ここでは、メールサーバーとして動作させるための設定についてご説明します。

### ■ 基本設定

#### ● 基本設定

電子メールを受け付ける(受信する)ドメインを確認します。

このマシンのドメイン名が登録されています。

送信できるメールの最大長(サイズ)を設定します。

制限を行う場合は、「制限する」にチェックをいれてバイト数を入力します。制限をおこなわない場合は、「制限しない」にチェックをいれておきます。(デフォルト)



メールでのバイト数は、エンコードされていますので実際のサイズより大きく(約 1.4 倍)なります。

「設定する」ボタンをクリックすると設定が完了します。

#### ● 詳細設定

HDE Anti-Virus for Gateway や他のアンチウイルス等を利用する際に、SMTP や POP3 のポート番号を変更したい場合は詳細設定から設定を行うことができます。

SMTP のポート番号を変更するには、qmail-smtpd のポート番号を「待ち受けポート番号の変更」にチェックをして、変更後のポート番号を入力します。

POP3 のポート番号を変更するには、qmail-popup のポート番号を「待ち受けポート番号の変更」にチェックをして、変更後のポート番号を入力します。

「設定する」ボタンをクリックすると設定が完了します。



変更されたか確認するには、以下のようにコマンドを実行します。(9025 に変更した場合)

## 第1章 バーチャルドメイン利用時のサーバー設定

```
$ telnet localhost 9025
Trying 127.0.0.1...
Connected to localhost.localdomain.
Escape character is '^]'.
220 xxx.xxx.xxx ESMTP
quit
221 xxx.xxx.xxx
```

- ・ 220 xxx.xxx.xxx ESMTP の場合は、変更が有効になっています。
- ・ 「telnet: Unable to connect to remote host: Connection refused 」の場合は有効になっていませんので、もう一度設定してください。

### ■ アクセス制御

HDE Controller では、デフォルトで「POP before SMTP」「SMTP AUTH」が利用できますので、いずれかの方法により外部からのこのマシンを経由した送信がおこなえますが、アクセス制御を明示して設定することで、いずれかの方法を問わず送信することが可能になります。

### ■ スпам拒否設定

不正中継を許可しているホストからのメール受信を、公開されている RBL サーバーを利用して受信を拒否することができます。

また、RBL サーバーに登録されていないサーバーからの迷惑メールを拒否するには特定のドメインから発信されている場合は、受信拒否リスト手動設定に「@ドメイン名」として入力することで受信を拒否することができます。

### ■ 宛先不明メール設定

サーバーが管理しているドメインに対して、存在しないユーザー宛に送信されたメールの処理方法を設定します。

## 5. Webサーバーの設定

HDE Controller をインストール時に基本的な設定は完了していますので、ここで設定を行う必要はありません。また、Web を公開する場合には極力バーチャルドメインを利用して公開をおこなってください。

各機能の詳細につきましては、ユーザーマニュアルをご参照ください。



バーチャルドメインのユーザーに対して CGI/SSI の許可をする場合は、リアルドメイン側で設定をおこないます。

### ■ バーチャルドメインのユーザーにCGI/SSIを許可するには

「ディレクトリ追加」では、以下のように許可させるディレクトリを追加します。

特定のドメインのユーザーのコンテンツディレクトリ(public\_html)に、許可するにはディレクトリに、`/home/lcvirtualdomain/ドメイン名/users/*/public_html` を入力して CGI/SSI を許可にします。

ユーザーのコンテンツディレクトリ(public\_html)以下に `cgi-bin` を配置する場合は特定の「ディレクトリに、`/home/lcvirtualdomain/ドメイン名/users/*/public_html/cgi-bin` を入力して CGI/SSI を許可にします。

全てのドメインのユーザーのコンテンツディレクトリ(public\_html)に、許可するにはディレクトリに、`/home/lcvirtualdomain/*/users/*/public_html` を入力して CGI/SSI を許可にします。

### ■ suEXECを利用するには

「基本設定」にある「suEXEC 設定」で設定をおこないます。プルダウンメニューから「有効にする」を選択して設定してください。



バーチャルドメインのユーザーが CGI/SSI を利用できなくなりますのでご注意ください。

### ■ .htaccess(分散設定ファイル制御/AllowOverride)を利用するには

「ディレクトリ管理」及び「ディレクトリ追加」で設定がおこなえます。

AllowOverride 指示子に指定する設定を画面より選択してください。

### 6. DNSサーバーの設定

既に、このマシンに与えられたホスト名が他のネームサーバーで管理されている場合はここで設定を行う必要はありません。

新規にドメインを立ち上げる場合は、この章にしたがって設定をおこなってください。



設定を行う前に、加入されているプロバイダー等よりネームサーバーの設定情報(プレフィックスに指定する文字等)を入手しておいてください。

#### ■ ドメイン追加

##### ● ドメイン追加

- ・ ネットワークアドレス選択では、現在のシステムのネットワークアドレスを選択してください。
- ・ ネットワークアドレス種別選択では、プルダウンメニューに事前に調査したタイプがある場合はそちらを選択します。  
メニューにない場合は、「その他の専用線」を選択してプレフィックスを入力してください。  
例では、OCN(フレッツ)を選択しています。
- ・ ドメイン名では、リアルドメインとするドメイン名を入力してください。
- ・ 管理者メールアドレスでは、このドメインの管理者となるメールアドレスを入力してください。
- ・ セカンダリ DNS サーバーのホスト名と IP アドレスでは、事前に調査した際に指定されている場合は入力してください。
- ・ 逆引きゾーンを自動作成するには、チェックをいれておきます。

ドメイン追加

新たにドメインを追加します。  
ここで設定するドメインはこのサーバーがドメイン管理権威を持ち、すなわち上位のドメインの DNSサーバーにより権威を委任されたドメインのマスターデータを持ち、そのデータの問い合わせを受けるようになります。

ネットワークアドレス選択

現在のシステムのネットワークアドレス

その他

---

ネットワーク種別選択

LAN

「その他の専用線」を選択した場合は下記の逆引きプレフィックスを入力してください。  
逆引きプレフィックス  ..xxxxxxxx.in-addr.arpa.

---

ドメイン名

管理者メールアドレス

スレーブサーバーのホスト名

スレーブサーバーのIPアドレス

逆引きゾーンを自動作成する。

登録済みゾーン一覧

ゾーン名	ゾーン種別
example.jp	マスター

「進む」ボタンをクリックして次にすすみます。

## ● ホスト情報の追加

先にネームサーバーの情報を追加します。

- ・ ホスト種別では、DNS サーバーを選択します。
- ・ ホスト名では、このドメインをレジストラに登録した際に申請したホスト名を使用します。
- ・ 値では、このマシンの IP アドレスを入力します。

他のホスト名も登録したい場合は、同様にして追加をおこなってください。

追加が終了したら、「設定する」ボタンをクリックして設定します。

**ここで追加をおこなわなかった場合でも「レコード管理」機能を利用して追加が可能です。**

ネームサーバーが正しく設定されたか確認します。

このマシンのコンソール画面より、以下のようして確認することができます。

```
ホスト名 -> IP アドレス (正引き)
$ host example.com <-入力
```

## 第 1 章 バーチャルドメイン利用時のサーバー設定

```
example.com has address 192.168.189.104 <-サーバーの応答  
IP アドレス → ホスト名 (逆引き)  
$ host -t ptr 192.168.189.104 <- 入力  
104.189.168.192.in-addr.arpa domain name pointer 192.168.189.104.xxx.xxx.xxx.xxx <-サーバーの応答
```



加入先のプロバイダー等の設定が済んでいない場合や、このマシンが外部と通信できない場合に逆引きが確認できないことがあります。

## 7. FTPサーバーの設定

このマシンの FTP サーバー全体に対する設定を行うことができます。

### ■ 基本設定

#### ● Anonymous FTP の設定

このマシン上に存在しないユーザーをログインさせたい場合等に設定します。

不特定のログインを受け付けるようになりますので、通常は無効にしておくことをお勧めします。

#### ● ポート設定

Passive モード利用時に、データ転送に利用されるポートを制限することができます。

ルーターやファイアウォール等で公開するポートを制限する場合に、ここで設定したポート番号が利用できません。



# HDE Controller 5

---

## 第2章 バーチャルドメインの作成

### 1. 概要

この章では名前ベースのバーチャルドメインを例にとり、実際のバーチャルドメインの作成方法及びその運用方法について解説します。

IP ベースのバーチャルドメインに関しましても基本的には同様の操作でお使いいただけます。

名前ベース及び IP ベースのバーチャルドメイン固有の操作に関しましては、文中にその旨が記述されておりますのでご注意ください。

## 2. バーチャルドメインの作成

この項ではバーチャルドメインの作成方法について解説します。バーチャルドメインを作成して運用するためには、作成前に適切にマシンを設定しておく必要があります。


メインメニューの「バーチャルドメイン管理」をクリックし、サブメニューの「バーチャルドメイン追加」をクリックします。

### ■ バーチャルドメイン基本情報の設定

#### バーチャルドメインの追加

バーチャルドメインの追加では、Web、メール、FTPサービス等のバーチャルドメインを新たに一つずつ追加することが出来ます。  
一括追加に関しては、別途「[CSV一括管理](#)」の画面から行ってください。

- ⚠ IPベースのバーチャルドメインは、このサーバーに割り当てられているIPアドレスの数しか作成できません。また、リアルドメインはIPベースのバーチャルドメインと同様に扱われるため、リアルドメインのIPアドレスはIPベースのバーチャルドメインに割り当てることが出来ません。
- ⚠ バーチャルドメインのディスク容量制限を行うためには、あらかじめ「[バーチャルドメイン容量制限の初期化](#)」を行わなくてはなりません。

名前  ベースのバーチャルドメインを作成する 

IPアドレスを選択  192.168.166.84

ドメイン名を入力

ドメイン管理者(admin)のパスワード

(再入力)

- このドメインの、マスターネームサーバーになる。
- 他のサーバーに、このドメインのマスターネームサーバーをまかせる。

この画面では、バーチャルドメインの基本情報を入力します。

「名前」ベースのバーチャルドメインを選択します。この章では例として、example.jp を入力したものと仮定します。

複数のネットワークインターフェースを備えたシステムでは、「IP アドレスを選択」で、バーチャルドメインサービスを

## 第2章 バーチャルドメインの作成

提供するインターフェースの IP アドレスを選択します。

バーチャルドメイン名を、「ドメイン名を入力」の欄に入力します。

ドメイン管理者(admin)のパスワードをパスワード入力欄及び再入力確認欄に入力します。ここで入力された値がバーチャルドメインの管理者(admin)が、管理画面にログインする際のパスワードになります。絶対に忘れないようご注意ください。



ログインする際のユーザー名は「admin@ドメイン名」のようになります。

マスターネームサーバーの選択チェックボックスでは、自分自身がそのドメイン(example.jp)のマスターネームサーバーとなる場合には「このドメインの、マスターネームサーバーになる」を選択します。このチェックを入れることにより、ネームサーバーに自動的にそのバーチャルドメインのエントリが追加されます。

他のネームサーバーがマスターネームサーバーになっている等、特にその必要が無い場合は、「他のサーバーに、このドメインのマスターネームサーバーをまかせる」を選択します。このサーバーに bind パッケージがインストールされていない場合は、マスターネームサーバーの選択チェックボックスは表示されません。

この章では、例として自分自身がマスターネームサーバーとなった場合を仮定して設定を進めていきます。

入力が全て完了しましたら、「進む」ボタンをクリックして次の画面に進みます。

## ■ テンプレート使用の選択

サービス形態テンプレートの作成

バーチャルドメイン作成時の、サービス形態のテンプレートを作成します。  
ISPのサービス形態に合わせて、あらかじめテンプレートを用意しておくことでバーチャルドメインの作成が容易になります。

テンプレート名

---

元になるテンプレートを選択

すべてのサービス

HDE Controller ISP Edition では、バーチャルドメイン毎にきめ細かい使用サービスや制限等の設定を行うことができます。これらの設定をテンプレートとして登録する事により、同じ権限を持ったバーチャルドメインを簡易に作成することができます。

テンプレートを作成していない状態では、「すべてのサービス」というテンプレートが唯一選択可能な状態になっています。この章では、これを選択したものと仮定して設定を進めていきます。テンプレートの使用方法につきましては、「ユーザーマニュアル」をご参照ください。

入力が全て完了しましたら、「進む」ボタンをクリックして次の画面に進みます。

## 第2章 バーチャルドメインの作成

### ■ 使用サービスの設定

サーバー選択

このテンプレートで提供するサービスを選択してください。DNSやFTPなど一部のサービスは、作成するバーチャルドメインの設定によっては、ここでの設定に関わらず使用できない場合があります。

テンプレート名: sample

- Webサーバー
- セキュアWebサーバー
- メールサーバー
- メールングリストサーバー
- バックアップ機能
- DNSサーバー
- FTPサーバー

戻る ✖ キャンセル 進む

作成しようとしているバーチャルドメインで提供するサービスを選択します。不要なサーバーを選択から外すことにより、システムの負荷を下げることができます。この章では、全てのサーバーを選択したものと仮定して設定を進めていきます。

入力が全て完了しましたら、「進む」ボタンをクリックして次の画面に進みます。

## 運用メニュー設定

バーチャルドメインの管理者「admin」の権限と一般ユーザーを作成時の権限を設定します。「個人情報管理」「CGIインストール」「HDE Controller設定」以外のメニューは「admin」の直接の権限に反映されます。「個人情報管理」「CGIインストール」「HDE Controller設定」メニューは新規ユーザーを作成した時に利用されるテンプレート権限になります。  
それぞれ与えたい権限の項目名を反転表示させることで権限が有効になります。運用メニュー単位で権限の増減を行いたい場合は「全て」ボタンまたは「削除」ボタンをクリックしてください。

テンプレート名: sample

### バックアップ?

- 今すぐバックアップ
- スケジュール編集
- バックアップファイルの復元
- スケジュール追加

全てチェック

全てチェックを外す

### CGIインストール?

- CGI管理
- CGI制御
- CGIインストール
- CGI登録

全てチェック

全てチェックを外す

### ディスク使用容量制限?

- 容量制限一覧
- 容量制限一括設定

全てチェック

全てチェックを外す

### DNSサーバー?

- レコード管理

全てチェック

全てチェックを外す

バーチャルドメインの管理画面に表示されるメニューを選択します。作成したバーチャルドメインの管理者がHDE Controllerの管理画面にログインすると、この画面で選択したメニューが表示されます。

各メニューはサブメニューに分割されており、サブメニュー単位で設定することができます。全てのサブメニューが選択されていないメニューはメインメニューに表示されなくなります。

使用方法の一例として、前画面の「サーバー選択画面」で「Web サーバー」の使用を選択しつつ、「運用メニュー設定」の「Web サーバー」の選択を外すような運用方法が考えられます。こうすることにより、Web サービス

## 第2章 パーチャルドメインの作成

を利用することはできません。パーチャルドメインの管理者が Web 公開ディレクトリを設定を行うことができないようなパーチャルドメインを作成することができます。

特に制限を変更する必要がなければ、デフォルトの状態です。この章では、特に制限を変更しなかったものと仮定して設定を進めていきます。

入力が全て完了しましたら、「進む」ボタンをクリックして次の画面に進みます。

### ■ 各種制限の設定

制限設定

このドメインの各種制限事項を設定します。作成可能なユーザーアカウントの最大数、メーリングリストの最大数と、ドメイン全体で使用可能なディスク容量を設定します。  
制限をかけたくない場合は、各項目のチェックボックスをはずしてください。

テンプレート名: sample

ユーザーアカウントの最大数	<input type="text" value="1000"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> メーリングリストの最大数	<input type="text" value="10"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> メールスプール容量	<input type="text" value="5000"/>	MBytes
<input type="checkbox"/> Web帯域幅制限	<input type="text"/>	kbps
<input type="checkbox"/> FTP転送速度制限(アップロード)	<input type="text"/>	kbps
<input type="checkbox"/> FTP転送速度制限(ダウンロード)	<input type="text"/>	kbps
<input checked="" type="checkbox"/> 最大ディスク容量	<input type="text" value="5000"/>	MBytes
<input checked="" type="checkbox"/> シェルの変更を許可する		
<input type="checkbox"/> ログイン有効期限	<input type="text" value="2009"/> 年 <input type="text" value="4"/> 月 <input type="text" value="19"/> 日	

パーチャルドメインの各種制限を設定します。制限をかけたい項目の左のチェックボックスをチェックし、制限値を入力します。「ユーザーアカウントの最大数」は、必ず入力する必要があります。なお、システム全体の制限値を越えた入力は入力不可あるいは無視されますので、ご注意ください。

特に制限をかける必要のない項目はチェックボックスを外しておきます。

入力が全て完了しましたら、「進む」ボタンをクリックして次の画面に進みます。



Web サーバーログはディスク容量制限には含まれません。また、メールプールにたまったメールは「メールプール容量」にのみ制限され、「最大ディスク容量」には制限されません。

## ■ サービス毎の基本設定

Webサーバー設定

このドメインで使用するWebサーバーの設定を行います。  
サーバー名はwww.example.comとなり、サーバー管理者はwebmaster@example.comとなります。  
なお、webmaster宛のメールは、adminに届きます。

Webサーバー名	<input type="text" value="www"/>	example.com
Webサーバーポート番号	<input type="text" value="80"/>	
セキュアWebサーバーポート番号	<input type="text" value="445"/>	

戻る ✕ キャンセル 進む

バーチャルドメインの Web サーバー機能について設定します。

「Web サーバー名」には、バーチャルドメインの Web サーバーとして公開する名前を設定してください。なお、バーチャルドメイン名のみでもアクセスすることが可能です。例をあげると、virtualdomain.isp バーチャルドメインの Web サーバー名として「www」を設定すると、http://www.virtualdomain.isp/もしくは http://virtualdomain.isp/としてアクセスできるようになります。

「セキュア Web サーバーポート番号」には、セキュア Web(https)アクセスに使用するポート番号を指定します。「セキュア Web サーバーポート番号」は、システム内でユニークである必要があります。デフォルト値として現在使用されていない値が表示されておりますが、変更される場合は他のバーチャルドメインで使用しているポート番号と衝突しないよう、ご注意願います。

入力が全て完了しましたら、「進む」ボタンをクリックして次の画面に進みます。

## 第2章 バーチャルドメインの作成

メールサーバー設定

メールサーバーのサーバー名を設定します。ユーザーは、このサーバー名をSMTPサーバー、POPサーバーとして指定します。

メールサーバー名  .example.com

戻る ✕ キャンセル 進む

メールサーバー名を指定します。自ホストがマスターネームサーバーとなっている場合には、この入力値がメールサーバーとして設定されます。

入力が全て完了しましたら、「進む」ボタンをクリックして次の画面に進みます。

## ■ ネームサーバーへ追加するレコードの確認

外部のネームサーバーを使用する場合には表示されているエントリを追加してください。

ネームサーバーへ追加するレコードの確認

マスター(プライマリ)ネームサーバーのexample.comゾーンファイルに以下のレコードを追加してください。  
マスターネームサーバー上でHDE Controllerを使用しexample.comゾーンを追加する場合は、「ネームサーバー設定」の「ドメインの追加」でドメイン名にexample.comを指定して行います。

example.com.	IN A	192.168.166.84
example.com.	IN MX 10	mail.example.com.
mail.example.com.	IN A	192.168.166.84
www.example.com.	IN A	192.168.166.84
ftp.example.com.	IN A	192.168.166.84

ドメインデータのインポート

このドメインのエクスポートファイルがある場合は、ここで指定することで自動的にユーザー情報、ホーム領域およびメールスプール領域等を復元することができます。

⚠ 正規の方法によって作成されてエクスポートデータを指定しないと正しく復元できません。

■ エクスポートファイルを指定してドメインデータのインポートを行う。

エクスポートファイル  📁 選択

戻る ✖ キャンセル 設定する

このドメインのエクスポートデータがサーバー上に保存されている場合は、このファイルを指定することでデータの展開を行い、ドメインの移行が可能です。

「設定する」ボタンをクリックすると、バーチャルドメインが作成されます。この処理には時間がかかる場合がございますので、しばらくお待ちください。

## 第2章 バーチャルドメインの作成

### ■ サブドメインの追加

バーチャルドメインのサブドメインを登録するには、通常のバーチャルドメインを登録する場合と同様に設定することで登録することができます。



バーチャルドメインのサブドメインを「CSV一括追加」機能で登録すると、自ホストがマスターネームサーバーになるように指定した場合でも、親ドメインにサブドメインの NS レコードが追加されません。「DNS サーバー」-「レコード管理」を使用して手動で登録する必要があります。

### 3. バーチャルドメインの管理

バーチャルドメインの作成にて設定したバーチャルドメインの削除及び内容の変更を行うことができます。メインメニューから「バーチャルドメイン管理」をクリックし、サブメニューから「バーチャルドメイン管理」をクリックすると、「バーチャルドメインの管理」画面が表示されます。この画面には、現在登録されているバーチャルドメインの一覧がリスト表示されています。

#### バーチャルドメインの管理

既存のバーチャルドメインの編集を行います。また、設定されているバーチャルドメインを、削除することも可能です。

新たに作成する場合には、「バーチャルドメイン追加」または「CSV一括管理」のメニューにて行ってください。


**⚠** バーチャルドメインを削除すると、そのドメインに属する全てのユーザーのホームディレクトリ、Webスペース、メールスプールが削除されます。必要ならば、あらかじめバックアップをとってください。

ドメイン検索

表示件数: 10

 検索

最小表示件数: 1

全1件					
ドメイン名の頭文字 <b>e - e</b>					
<input type="checkbox"/> 全て削除	ドメイン名	IPアドレス	タイプ	アカウント数	内容の変更
<input type="checkbox"/>	example.jp	192.168.166.84	名前ベース	2件	

設定する

## 第2章 パーチャルドメインの作成

### ■ パーチャルドメインの変更

「パーチャルドメインの管理」画面に表示されている各パーチャルドメイン一覧の右側にある、「編集」ボタンをクリックすると、その設定内容を変更することができます。

The screenshot shows a dialog box titled 'サーバー選択' (Server Selection) with three tabs: 'サーバー選択', '運用メニュー設定', and '制限設定'. The 'サーバー選択' tab is active. Inside the dialog, there is a message: 'このドメインで提供するサービスを選択してください。' (Please select the services to be provided for this domain.). Below this, the domain name is shown as 'ドメイン名: example.jp'. A list of services with checkboxes is displayed, all of which are checked: 'Webサーバー', 'セキュアWebサーバー', 'メールサーバー', 'メーリングリストサーバー', 'バックアップ機能', 'DNSサーバー', and 'FTPサーバー'. At the bottom of the list are two buttons: 'OK' and 'Cancel'. A warning icon and text are at the bottom of the dialog: '⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。' (To reflect changes in the configuration file, press the OK button above, and then click the '設定する' button on the page that appears next.)

変更できる内容は、「使用サーバーの選択」「運用メニューの選択」「各種制限設定」です。パーチャルドメイン名等、基本情報の変更を行うことはできません。変更項目の詳細につきましては、「パーチャルドメインの作成」の章及び「ユーザーマニュアル」をご参照ください。

変更が終了しましたら、「OK」ボタンをクリックして「パーチャルドメインの管理」画面に戻り、「設定する」ボタンをクリックします。以上でパーチャルドメインの変更が完了します。

### ● パーチャルドメインの削除

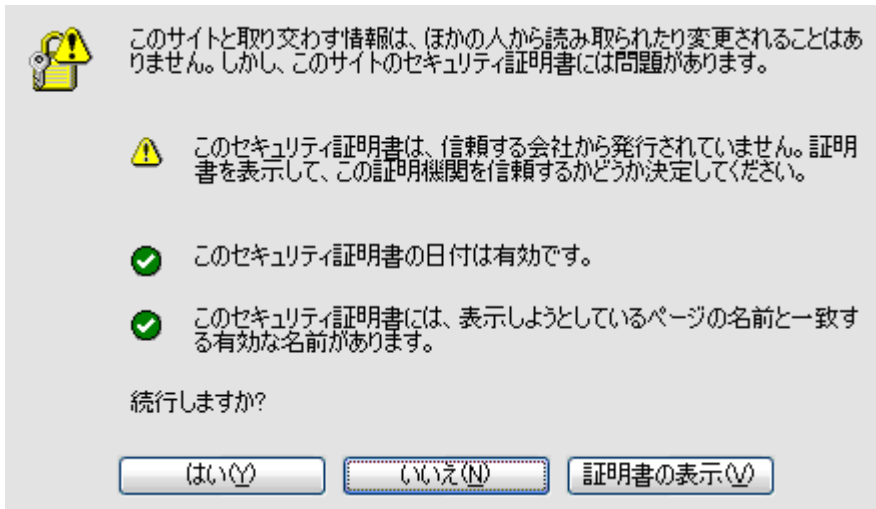
作成したパーチャルドメインを削除するには、「パーチャルドメインの管理」画面に表示されている各パーチャルドメイン一覧の左側にある「削除」チェックボックスにチェックを入れて選択します。

削除ドメインの選択が終了しましたら、「設定する」ボタンをクリックします。以上でパーチャルドメインの削除が完了します。

## 4. バーチャルドメイン管理画面のアクセス


バーチャルドメインの管理者が管理画面にアクセスするには、対応ブラウザにて以下の URL にアクセスします。

https://[ホストの FQDN または IP アドレス]:16590/



A security warning dialog box with a yellow warning icon. The text reads: "このサイトと取り交わす情報は、ほかの人から読み取られたり変更されることはありません。しかし、このサイトのセキュリティ証明書には問題があります。" Below this are three items: a warning icon with "このセキュリティ証明書は、信頼する会社から発行されていません。証明書を表示して、この証明機関を信頼するかどうか決定してください。", a green checkmark with "このセキュリティ証明書の日付は有効です。", and another green checkmark with "このセキュリティ証明書には、表示しようとしているページの名前と一致する有効な名前があります。" At the bottom, it asks "続行しますか?" and has three buttons: "はい(Y)", "いいえ(N)", and "証明書の表示(O)".

セキュリティ警告画面が表示されますので、「はい」をクリックして続行します。



An authentication dialog box with a key icon. It prompts the user to enter their name and password. The fields are: "サイト:" with "example.com", "領域:" with "HDE Controller", "ユーザー名(U):" with "root@example.com", and "パスワード(P):" with "\*\*\*\*\*". There is a checkbox "このパスワードを保存する(S)" which is checked. At the bottom are "OK" and "キャンセル" buttons.

認証ダイアログには以下のように入力します。

## 第2章 バーチャルドメインの作成

ユーザー名	[ユーザー名]@[バーチャルドメイン名](例:admin@virtualdomain.isp)
パスワード	バーチャルドメイン作成時に設定した管理者パスワード



この項目以降の設定は、バーチャルドメインの管理画面での操作となります。

**HDE Controller<sup>5</sup>**  
Web-based Administration Software for Linux Servers

ユーザー名 **admin@example.jp**

**サービス** >>>

- Webサーバー
- セキュアWeb
- メールサーバー
- メーリングリスト
- DNSサーバー
- FTPサーバー
- ディスク容量制限設定

**運用** >>>

- アカウント
- バックアップ
- ログ管理
- バーチャルドメイン
- ネットワーク

**パーソナル** >>>

- 個人情報管理
- ユーティリティ
- HDE Controller 設定
- CGIインストール

HDE Controller 5.0.0 ISP Edition(9101)

## 5. Webサーバーの管理

Webサーバーの管理では、Webサーバーに関するバーチャルドメイン側の設定や設定変更を行うことができます。基本設定については、デフォルトの状態でも特に問題は発生しませんが、ご利用される環境に応じて変更をおこなってください。

### ■ Webサーバー設定

#### ● 基本設定

通常は変更する必要がありません。

#### ● 詳細設定

- ・ バーチャルドメインのユーザーがWebを公開する際に利用されるURLタイプを選択します。運用ポリシーに合わせて選択をしてください。
- ・ サーバログに、エージェント/参照元/画像 についてのアクセスを記録するか選択します。
- ・ リモートホスト名の逆引きについて選択します。



サーバログで、「記録しない」を選択した場合やリモートホスト名の逆引きをしない場合「アクセス統計」においてレポート内容が正しく表示されなくなる可能性があります。

「設定する」ボタンをクリックすると設定が完了します。

#### ● 詳細設定(セキュア Web サーバー)

バーチャルドメインのユーザーが、SSL 化された Web を公開する際に html ファイルをアップロードする場所を指定できます。

デフォルトでは、通常のWebを公開するディレクトリと同じに設定されていますが、異なるディレクトリを利用したい場合は「通常の Web サーバーと異なる場所に置く」にチェックをして、ディレクトリを入力します。

「設定する」ボタンをクリックすると設定が完了します。



ユーザー毎に設定することはできません。全てのユーザーに対して有効になります。

## 第2章 パーチャルドメインの作成

### ● エラーメッセージの設定

運用ポリシーに合わせて選択をしてください。

「設定する」ボタンをクリックすると設定が完了します。

### ■ CGI/SSIの設定について

HDE Controller では、ドキュメントルートの下(/home/lcvirtualdomain/ドメイン名/htdocs/cgi-bin)にcgi-binディレクトリが設定済ですが、ディレクトリを事前に作成しておく必要がありますので、FTP クライアントソフトやファイルマネージャーを利用して htdocs の下に cgi-bin ディレクトリを作成する必要があります。

上記以外のディレクトリやドキュメントルートに対して CGI/SSI を有効に設定するには、ディレクトリの管理/追加でおこないます。

「ディレクトリ追加」画面で、設定したいディレクトリを入力して CGI/SSI の使用可を選択してください。

「進む」ボタンをクリックして次の画面に移り「設定する」ボタンをクリックしてください。

追加したディレクトリにホストの制限をかけない場合は、ホストの制限はデフォルトのままにしておきます。

設定の変更は、「ディレクトリ管理」画面より行うことができます。



バーチャルドメインのユーザーに CGI/SSI を許可する設定は、リアルドメインからのみおこなえます。

### ■ .htaccess(分散設定ファイル制御/AllowOverride)を利用するには

「ディレクトリ管理」及び「ディレクトリ追加」で設定がおこなえます。

AllowOverride 指示子に指定する設定を画面より選択してください。

### ■ ディレクトリ認証について

特定のディレクトリにアクセスした際に、ログイン名とパスワードの入力を求めるように設定するには「ディレクトリ認証設定」画面でおこないます。

設定を行うには

- ・ 「ディレクトリ追加」画面で、認証を設定したいディレクトリを追加します。
- ・ 「ディレクトリ認証設定」画面で、追加しておいたディレクトリ名のフォルダーアイコンか「編集ボタン」をクリックします。

- ・ 「認証機能を有効にする」にチェックをして、ユーザー名とパスワードを入力して「追加ボタン」をクリックします。複数のユーザー名とパスワードを設定したい場合は、繰り返し追加してください。

追加が完了しましたら、「戻る」ボタンをクリックして「設定する」ボタンをクリックしてください。

## ■ アクセス統計について

Web サーバーのログを解析し、解析結果を表示します。

月の統計、日ごとの統計、時間ごとの統計、ヒット数ランキング(URL、エントリー、Exit、サイト)、リファラー、検索文字列、ユーザーエージェント、国別統計が利用できます。

## ■ 鍵と証明書(SSL)設定

### ● 既にサイト証明書を取得している場合

「鍵・証明書のアップロード」よりアップロードをおこなってください。

### ● 新規にサイト証明書を取得する場合

以下の手順で証明書署名要求(CSR)を作成して、お申し込みください。

「Web サーバーの SSL キー設定」画面で、必要事項を入力し、「新しい SSL 秘密鍵/公開鍵のペアと、証明書を作り直します。」にチェックをして「設定する」ボタンをクリックします。

証明書署名要求(CSR)が作成されていますので、「鍵・証明書のダウンロード」画面より証明書署名要求(CSR)をダウンロードして証明書発行機関に申請してください。

発行されたサイト証明書を「鍵・証明書のアップロード」よりアップロードをおこなってください。



パスフレーズ付きの秘密鍵には対応していません。

## 第 2 章 バーチャルドメインの作成

### ● Web コンテンツのアップロードについて

FTP クライアントソフトを利用して Web コンテンツをアップロードするには、以下のようにクライアントソフトを設定してください。

- ・ サーバー名: ftp.ドメイン名
- ・ ユーザー名: admin@ドメイン名
- ・ パスワード: admin のパスワード
- ・ リモートホストの初期フォルダー: htdocs(SSL の場合は、htdocs\_ssl)

#### ユーザー用の設定

- ・ サーバー名: ftp.ドメイン名
- ・ ユーザー名: ユーザー名@ドメイン名
- ・ パスワード: ユーザーのパスワード
- ・ リモートホストの初期フォルダー: public\_html

## 6. メールサーバーの管理


バーチャルドメインのメールサーバーに関する各種設定を変更することができます。管理画面の「メールサーバー」をクリックし、メールサーバー設定画面に入ります。

### ■ スプール容量制限


サブメニューから、「スプール容量制限」メニューをクリックします。

### スプール制限容量の設定

メールスプールの制限容量の設定を行います。スプールの容量を制限すれば、ユーザーがメールスプールに貯めておくことの出来るメールの最大サイズを制限することが出来ます。HDE Controllerから追加していないユーザーには、設定が出来ないことがあります。

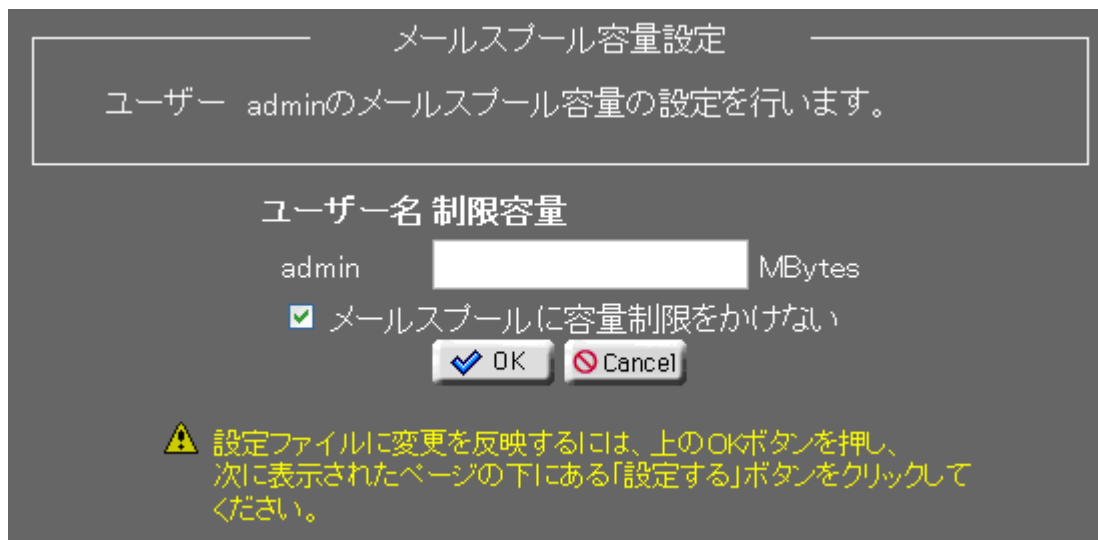
ユーザー検索  表示件数: 10  検索

最小表示件数: 1

全1件 ユーザーの頭文字「-」				全て表示
ユーザー名	ディスク使用量	制限容量	アクション	
admin	0 bytes	無制限	 編集	

スプール制限容量の設定画面には、ユーザーの一覧及び現在のスプール容量制限値が表示されています。画面に表示しきれなかったユーザーは、頭文字検索及び文字列検索により表示させることができます。

ユーザーリスト右側の「編集」ボタンをクリックすると、「メールスプール容量設定」画面に入り、対象ユーザーのメールスプール容量を設定することができます。



メールスプール容量設定

ユーザー adminのメールスプール容量の設定を行います。

ユーザー名 制限容量

admin  MBytes

メールスプールに容量制限をかけたがいない

**⚠** 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

制限容量をメガバイト単位で指定します。特に制限をかけない場合は、「メールスプールに容量制限をかけない」チェックボックスにチェックを入れます

設定が終了しましたら、「OK」ボタンをクリックして「スプール制限容量の設定」画面に戻ります。「設定する」ボタンをクリックすると、設定が有効となります。

### ■ スプール容量制限一括設定

複数のユーザーに直ぐ設定を行う場合は、こちらから行います。  
変更を行うユーザーにチェックを入れ、値を設定します。

「設定する」ボタンをクリックし、設定を終了します。

## ■ エイリアス設定

サブメニューから、「エイリアス設定」メニューをクリックします。

メールアドレスのエイリアス(別名)を設定することができます。追加を行う別名を「追加エイリアス名」に入力し、実際のメール配送先となるアドレスを「エイリアス値」に入力し、「追加」アイコンをクリックすると下部のリストに追加されます。

設定値の削除・編集を行うには、リスト右側の「削除」「編集」アイコンをクリックします。

リストの編集が終了しましたら、「設定する」ボタンをクリックするとエイリアス値が有効となります。

## 第2章 バーチャルドメインの作成

### ■ 宛先不明メール転送設定

サブメニューから、「宛先不明メール転送設定」メニューをクリックします。

宛先不明メール転送設定

宛先不明メールの転送先アドレスを設定します。

- メッセージを送信者に送り返す
- メッセージを右記のメールアドレスに転送する
- メッセージを削除する

設定する

バーチャルドメインの存在しないアカウント宛てに届いたメールをどのように処理するか設定することができます。

送信者に送り返す、もしくは指定のメールアドレスに送信するまたは直ちに削除することができます。

入力が終了しましたら、「設定する」ボタンをクリックして設定を有効にします。

## 7. メーリングリストの管理

HDE Controller ではメーリングリストの作成・管理をブラウザ上から簡単に行うことができます。個々の機能につきましては、マニュアルに詳細に記述されておりますので、そちらをご参照ください。この章では、典型的なメーリングリストの作成・削除方法を、順を追って解説します。

## 第2章 パーチャルドメインの作成

### ■ メーリングリストの作成

管理画面の「メーリングリスト」をクリックし、メニューの[メーリングリスト追加]をクリックします。

### メーリングリスト作成

メーリングリスト名	<input type="text" value=""/> @ example.jp
コメント	<input type="text"/>
管理者メールアドレス	<input type="text"/>
管理用パスワード	<input type="text"/> (再入力) <input type="text"/>
投稿者制限	<input checked="" type="radio"/> メンバーのみ <input type="radio"/> 管理者のみ <input type="radio"/> 制限なし
返信先メールアドレス	<input type="text"/> <small>⚠ 空白の場合、投稿者のメールアドレスになります。</small>
最大メッセージサイズ	<input checked="" type="radio"/> 制限なし <input type="radio"/> 制限あり <input type="text"/> バイトまで
アーカイブ	<input checked="" type="radio"/> 保存しない <input type="radio"/> 保存する
件名プレフィックス	<input type="text"/> <input checked="" type="checkbox"/> 通し番号を追加する
通し番号開始値	<input checked="" type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> 変更する <input type="text" value="1"/>

### コマンドメールの設定

参加方法	<input type="text" value="本人のみ"/> <input type="checkbox"/> 参加確認を行う
退会方法	<input type="text" value="本人のみ"/>
参加者一覧取得	<input type="text" value="メンバーのみ"/>
参加リスト一覧取得	<input type="text" value="メンバーのみ"/>

例として、参加者は誰でも発言できるメーリングリストを作成します。

コミュニティ内での交流に適した設定をおこないますが、「参加・退会は本人のみ」「メンバーは参加者名簿の閲覧が可能」「参加者以外の発言を禁止」という設定がよいでしょう。

また、参加条件を少し厳しくして「参加は管理者の承認が必要」としてもよいでしょう。

- ・ 「メーリングリスト名」を設定します。ドメイン部は常に自分のバーチャルドメイン名となります。
- ・ 「コメント」を入力します。コメントは管理画面で表示される項目になります。
- ・ 「管理者メールアドレス」に、管理者のメールアドレスを設定します。
- ・ 「管理者用パスワード」に、パスワードを設定します。設定されたパスワードはコマンドメールの承認等に使用されます。
- ・ 「返信先メールアドレス」を設定します。この欄が空欄になっていると、返信先として送信者のアドレスが設定されます。  
「コミュニケーション型」のメーリングリストの場合には、返信先がメーリングリストに設定されている方が好ましいので、「メーリングリスト名」と同じアドレスを入力してください。
- ・ 投稿者制限は「メンバーのみ」、「最大メッセージサイズ」は必要に応じて設定します。  
「アーカイブ」を保存するにした場合、バックナンバー等の取得が可能になります。
- ・ 「参加方法」は、「本人のみ」にします。
- ・ 「退会方法」も、「本人のみ」にします。
- ・ 「参加者一覧取得」は、「メンバーのみ」にします。
- ・ 「参加リスト一覧取得」も、「メンバーのみ」にします。

入力が全て完了しましたら、「進む」ボタンをクリックして次の画面に進みます。

## 第2章 バーチャルドメインの作成

メーリングリスト「test」のメンバー設定

一括登録するメンバーを手入力、あるいはコピー&ペーストで指定します。

**⚠** 一行に一つずつのメールアドレスを入力してください。

test@example.jp

戻る   **X** キャンセル   設定する

この画面では、初期設定時のメーリングリストメンバーを設定します。前画面の管理者アドレスは自動的に設定されています。

アドレスの追加を行う場合は、1行に1アドレスの形式で入力します。


入力が全て完了しましたら、「設定する」アイコンをクリックします。以上でメーリングリストが作成されます。

## ■ メーリングリストの削除



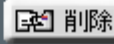
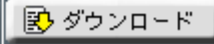
メインメニューの「メーリングリスト」をクリックし、メニューの「メーリングリスト管理」をクリックします。


### メーリングリスト管理

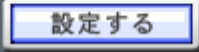
ここではメーリングリストの設定変更を行うことができます。  
設定を変更したい場合は、「編集」ボタンをクリックしてください。

メーリングリスト検索  表示件数:  

最低表示件数: 1

全 1 件						<a href="#">全て表示</a>
頭文字 <u>s - s</u>						
名前	コメント	登録数	投稿数	アクション	メンバー一覧	
 sample	sample	1	1	 		

 設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。



下部に現在登録されているメーリングリストの一覧が表示されておりますので、削除したいメーリングリストの「削除」アイコンをクリックします。「設定する」をクリックすれば、メーリングリストの削除が完了します。

### 8. DNSサーバーの管理

自バーチャルドメインのDNSサーバーレコードを管理することができます。  
管理画面の「DNSサーバー」をクリックし、メニューの「レコード管理」をクリックします。

ゾーン「example.jp」のレコード管理

このゾーンに新規レコードを追加したり、レコードの削除を行うことができます。

レコード追加

レコード?	TTL?	レコード種別?	レコードの値?	
<input type="text" value="example.jp"/>	<input type="text"/>	IN A	<input type="text"/>	追加

レコードリスト

レコード	TTL	レコード種別	レコードの値	
example.jp	86400	IN NS	lc5.example.jp	削除
example.jp	86400	IN MX 10	mail.example.jp	削除
example.jp	86400	IN A	192.168.166.84	削除
lc5.example.jp	86400	IN A	192.168.166.84	削除
www.example.jp	86400	IN A	192.168.166.84	削除
mail.example.jp	86400	IN A	192.168.166.84	削除
ftp.example.jp	86400	IN A	192.168.166.84	削除

戻る キャンセル 設定する

「レコード」には、ホスト名を入力します。ドメイン部を変更することはできません。

「レコード種別」には、どのようなレコードを登録するかを入力します。

「レコードの値」には、「レコード」に対応するIPアドレスまたはホスト名を入力します。Aレコードの値としてホスト名を入力することはできません。



ホスト名を登録する場合には、必ず末尾にドット"."を付加するようにします。

レコードを削除するには、各レコードの右側にある「削除」アイコンをクリックします。

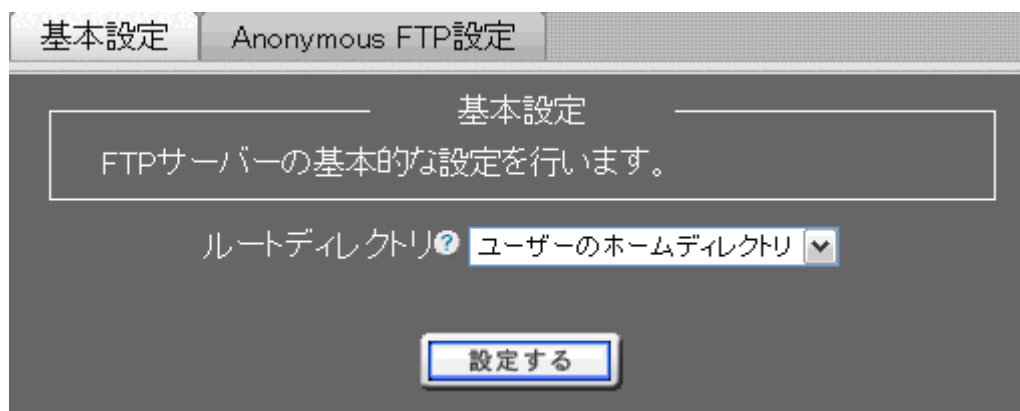
全ての設定が終了したら、「設定する」ボタンをクリックします。以上でレコードの登録及び削除が完了します。

### 9. FTPサーバーの管理

FTPサーバーの設定を行うことができます。

管理画面の「FTPサーバー」-「基本設定」をクリックします。

#### ■ 基本設定



The screenshot shows a web interface for managing FTP servers. At the top, there are two tabs: "基本設定" (Basic Settings) and "Anonymous FTP設定" (Anonymous FTP Settings). The "基本設定" tab is active. Below the tabs, the page title is "基本設定". A message box contains the text "FTPサーバーの基本的な設定を行います。" (Perform basic settings for the FTP server). Below this, there is a label "ルートディレクトリ?" (Root directory?) followed by a dropdown menu currently set to "ユーザーのホームディレクトリ" (User's home directory). At the bottom, there is a button labeled "設定する" (Set).

FTP ログイン後のルートディレクトリを指定します。

## ■ Anonymous FTPの設定

基本設定    Anonymous FTP設定

Anonymous FTP設定

Anonymous FTP サービスは、所定のシステムアカウントを持たない外部利用者に対して匿名でのFTPサービスの利用を提供する機能です。特にこの機能が必要では無い場合には、無効に設定しておくことをお勧めします。

Anonymous FTPを有効にする

認証クライアント最大数

incomingディレクトリへの書き込みを有効にする

設定する

Anonymous FTP とは、アカウント認証を必要とせずにシステムの公開領域への FTP アクセスを可能とする機能です。

この機能を有効にするには、「Anonymous FTP を有効にする」チェックボックスをチェックします。また、「認証クライアント最大数」を設定することにより、同時アクセスユーザー数を制限することもできます。

チェックが終了したら、「設定する」ボタンをクリックします。以上で Anonymous FTP の設定が有効になります。

## ■ incomingディレクトリの設定

incoming ディレクトリとは、不特定のユーザの FTP アップロードを許可するディレクトリです。この機能を有効にするには、「incoming ディレクトリへの書き込みを有効にする」チェックボックスをチェックします。

チェックが終了したら、「設定する」ボタンをクリックします。以上で incoming ディレクトリの設定が有効になります。

Anonymous FTP 及び incoming ディレクトリ機能を有効にすると、限定された領域のみとはいえ、不特定のユーザーからのアクセスを許可するリスクを発生させることとなります。特に必要が無い場合は無効にしておく事をお勧めします。

### 10. ユーザーの管理

HDE Controller では、ブラウザ上からユーザーの管理を簡単に行うことができます。管理画面の「アカウント」をクリックし、アカウント管理画面に入ります。

#### ■ ユーザーの追加

#### ユーザー追加

あと949人のユーザーを追加することができます。

ユーザー名(ログイン名)	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード(再入力)	<input type="password"/>
グループ	ログイン名と同じにする <input type="button" value="v"/>
追加情報(本名など)	<input type="text"/>
シェル	<input checked="" type="radio"/> /bin/bash <input type="button" value="v"/> <input type="radio"/> 利用不可 <input type="radio"/> その他 <input type="text"/>
メール	<input checked="" type="radio"/> POP 及び APOP で認証 <input type="radio"/> POP のみで認証 <input type="radio"/> APOP のみで認証 <input type="radio"/> 利用不可
FTP	<input checked="" type="radio"/> 利用可 <input type="radio"/> 利用不可
アカウント有効期限	<input checked="" type="radio"/> 無制限 <input type="radio"/> ---- 年 -- <input type="button" value="v"/> 月 -- 日
ホーム領域制限	<input checked="" type="radio"/> 容量制限は利用できません。
メールスプール領域制限	<input type="text"/> MBytes

サブメニューから、「ユーザー追加」メニューをクリックします。

この画面の必要項目を入力し、「設定する」ボタンをクリックすることにより、新規ユーザーが追加されます。各設定項目の詳細につきましては、ユーザーマニュアルをご参照ください。

作成されたユーザーがシェルまたは FTP でログインするには、ユーザー名をユーザー名@バーチャルドメイン名の形式で入力します。

例えば、バーチャルドメイン名が example.jp で、ユーザー名が hde のユーザーがログインするためには、hde@example.jp と入力する必要があります。ユーザー名(hde)だけではログインすることはできません。

## 第2章 バーチャルドメインの作成

「テンプレート設定」機能を使用することにより、ユーザー追加画面の初期値を変更することができます。

ユーザーテンプレート設定

ユーザーの追加時のデフォルトテンプレートを設定します。

シェル	<input checked="" type="radio"/> /bin/bash <input type="radio"/> 利用不可 <input type="radio"/> その他 <input type="text"/>
メール	<input checked="" type="radio"/> POP及びAPOPで認証 <input type="radio"/> POPのみで認証 <input type="radio"/> APOPのみで認証 <input type="radio"/> 利用不可
FTP	<input checked="" type="radio"/> 利用可 <input type="radio"/> 利用不可
アカウント有効期限	<input checked="" type="radio"/> 無制限 <input type="radio"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
ホーム領域制限	<input type="text"/> 容量制限は利用できません。
メールスプール領域制限	<input type="text"/> MBytes

この機能を利用することにより、ユーザー追加画面での入力項目を省略することができます。

## ■ ユーザーの編集・削除

ユーザー検索  表示件数 10 検索

最小表示件数:1

全 3 件  
ユーザーの頭文字 a-h 全て表示

状態	ユーザー名	説明	詳細	全て削除
	admin		編集	
	ftp		編集	削除
	hoge		編集	削除

⚠️ 設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

サブメニューから、「ユーザー管理」をクリックします。

ユーザー管理画面には、登録ユーザーの一覧が表示されています。画面に表示しきれなかったユーザーは、頭文字検索及び文字列検索により表示させることができます。

また、この画面からは、ユーザー情報の編集及び削除を行うことができます。ユーザー情報を編集するには「編集」アイコンを、削除するユーザーを指定するには「削除」アイコンをクリックします。編集アイコンをクリックすると、ユーザー情報編集画面が表示されます。項目を編集し「OK」ボタンをクリックすると、ユーザー管理画面に戻ります。

編集及び削除の指定が終了したら、「設定する」ボタンをクリックすることにより、設定が完了します。

## 第2章 パーチャルドメインの作成

### ■ アクセス権限設定

### ユーザー選択

プロフィールを編集する(または権限の一部を委譲する)ユーザーを選択します。  
設定したいユーザーの「編集」ボタンを押してください。

ユーザー検索:  表示件数: 15

全2件  
ユーザーの頭文字 [a-h](#)

ユーザー名	使用/権限委譲 状態	
admin	53/54	<input type="button" value="編集"/>
hoge	11/54	<input type="button" value="編集"/>

**⚠**設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

サブメニューから「アクセス権限設定」をクリックします。  
アクセス権限設定画面には、登録ユーザーの一覧及び現在のアクセス権限状態が表示されています。画面に表示しきれなかったユーザーは、頭文字検索及び文字列検索により表示させることができます。

アクセス権限を変更するには、ユーザーリストの右側の「編集」アイコンをクリックします。

## 運用メニュー設定

プロファイルを編集する(または権限の一部を委譲する)運用メニューを選択します。各運用メニューで全ての設定メニューを使用する場合は「全て」ボタン、使用する設定メニューを自分で選択する場合は「カスタム」ボタン、設定メニューを使用しない場合は「削除」ボタンを押してください。

ユーザー名: admin

### 運用メニュー

### 使用/権限委譲 状態 アクション

CGIインストール	 4/4	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
DNSサーバー	 1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
FTPサーバー	 1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
HDE Controller設定	 1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
Webサーバー	 6/6	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
アカウント	 9/9	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
セキュアWebサーバー	 5/5	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
ディスク使用容量制限	 2/2	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
ネットワーク	 1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
バーチャルドメイン	 1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
バックアップ	 4/4	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
メーリングリスト	 3/3	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
メールサーバー	 5/5	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
ユーティリティ(一般用)	 0/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
ユーティリティ(管理者用)	 1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
ログ管理	 2/2	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除
個人情報管理	 7/7	<input checked="" type="checkbox"/> 全て	<input type="radio"/> カスタム	<input type="checkbox"/> 削除

 戻る

 設定ファイルに変更を反映するには、上の「戻る」ボタンを押し、次に表示されたページの「下」にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

一般ユーザーのデフォルト状態では、「個人情報管理」と「ファイルマネージャー」のみ使用可となっていますので、目的にあわせて権限を増減させてください。適切に設定することにより、メール転送機能を使用できないユーザーや、一般ユーザーでありながらユーザー追加権限を持ったユーザーを作成することもできます。

権限の選択が完了したら、「戻る」アイコンをクリックして一覧画面に戻り、「設定する」アイコンをクリックすることにより、設定が完了します。



# HDE Controller 5

---

## 第 3 章 バーチャルドメインユーザー機能

### 1. 概要

バーチャルドメインの管理画面より、追加されたユーザーはバーチャルドメインユーザーとなり、このマシンに対して、メールサービスや Web サービス等を利用することができます。  
また、管理画面にアクセスすることによりユーザーの各種個人情報等を変更することができます。

#### ■ 各サービスについてのクライアントソフト設定情報

##### ● メールサービス

- ・ SMTP サーバー: mail.ドメイン名
- ・ POP/IMAP サーバー: mail.ドメイン名
- ・ POP/IMAP アカウント: ユーザー名@ドメイン名  
(クライアントソフトによっては、@のかわりに%を指定することがあります。)
- ・ POP/IMAP パスワード: 設定されているもの

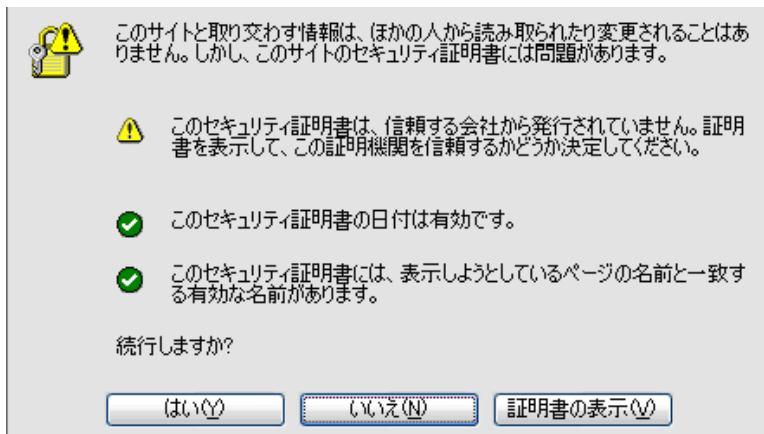
##### ● FTP サービス

- ・ FTP サーバー: ftp.ドメイン名
- ・ アカウント: ユーザー名@ドメイン名
- ・ パスワード: 設定されているもの
- ・ リモートホスト初期ディレクトリ: public\_html

## ■ 管理画面へのアクセス方法

ユーザーが管理画面にアクセスするには、対応したブラウザにて以下の URL にアクセスします。

http://ホストの FQDN または IP アドレス:16590/



セキュリティ警告画面が表示されますので、「はい」をクリックして続行します。



認証ダイアログには以下のように入力します。

ユーザー名	[ユーザ名]@[バーチャルドメイン名]
パスワード	ユーザー作成時に設定したユーザーのパスワード

### 第3章 バーチャルドメインユーザー機能

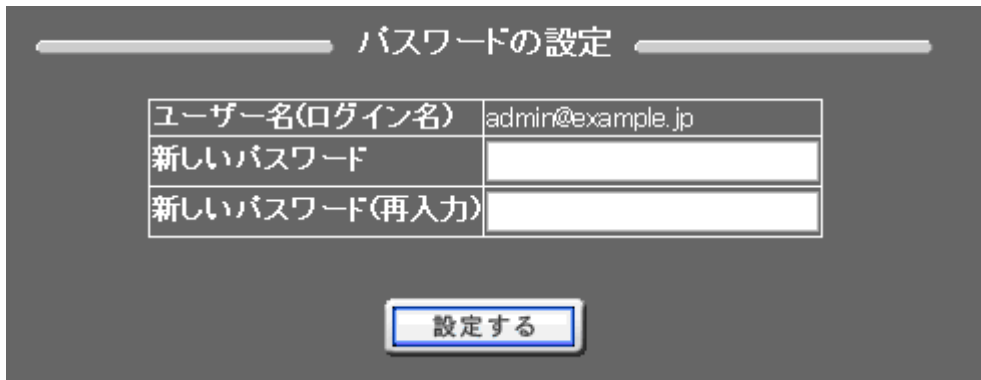


ユーザー管理画面の各機能は、管理者により表示の変更が可能です。

## 2. 個人情報管理

ログインしたユーザーに対しての様々な設定の変更が可能です。

### ■ ログインパスワード



パスワードの設定	
ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード(再入力)	<input type="password"/>

HDE Controller にログインする為のパスワードが設定・変更できます。

新しいパスワードを入力してください。

「設定する」ボタンをクリックして設定が完了します。

## 第3章 バーチャルドメインユーザー機能

### ■ 詳細設定

ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp
追加情報(本名など)	(例) Taro Yamada (空欄でも可)

設定する

ユーザー自身の追加情報を設定・変更できます。一般的には本名などを設定しますが、必須ではありません。入力欄に入力後、「設定する」ボタンをクリックして設定が完了します。

### ■ メール転送

ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp
メールの転送先	<input checked="" type="checkbox"/> このサーバーのメールプールにも電子メールを残す <b>注意！</b> ：メールの転送先の設定は注意深く行ってください。 メールアドレスが間違っていると、メールが届かなくなるだけでなく、他人に迷惑をかける可能性があります。

設定する

ログインしているユーザー宛のメールを他のアドレスへ転送するように設定できます。複数に転送したい場合は、改行をして入力してください。

ログインしているユーザーでも受け取りたい場合は、「このサーバーのメールプールにも電子メールを残す」にチェックをしてください。

入力欄に入力後、「設定する」ボタンをクリックして設定が完了します。

## ■ メールパスワード

————— メールパスワードの変更 —————

ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp
現在のメールパスワード:	<input type="password"/>
新しいメールパスワード:	<input type="password"/>
(再入力):	<input type="password"/>

メールパスワードの設定を変更できます。

現在のパスワードと新しいパスワードを入力してください。

「設定する」ボタンをクリックして設定が完了します。

## 第3章 パーチャルドメインユーザー機能

### ■ 自動メール返信設定

メールの自動返信設定

メールの自動返信設定を行います。長期にわたり、メールを受信出来ない場合などに利用します。

ユーザー名(ログイン名): admin

自動メール返信設定

■ 自動メール返信機能を有効にする

⚠ メーリングリストに参加している場合など、ネチケットとして自動返信メールは使用すべきでない場合があります。自動返信を設定することに問題が無いかどうか検討してから使用してください。

返信メール設定

返信メール差出人:  <admin@example.jp>

返信メール件名:

返信メール本文:

⚠ メール本文は通常のテキスト文で送信します。HTMLタグ等は全てそのままの状態です。

設定する

ログインしているユーザー宛にメールが送られてきた際に、送信者に対して自動でメールを返信することができます。

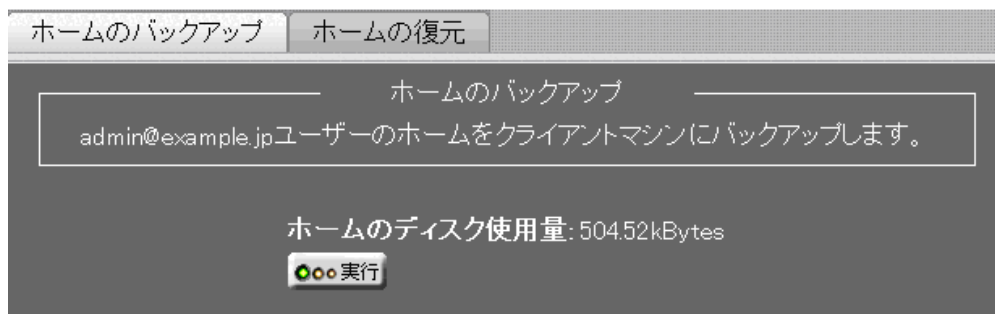
例えば、休暇等でメールを確認できない際に送信者に任意のメッセージを送る等に利用できます。自動メール返信設定を有効にするには、「自動メール返信機能を有効にする」にチェックをします。

差出人、件名、本文 を入力後、「設定する」ボタンをクリックして設定が完了します。

## ■ バックアップ/復元

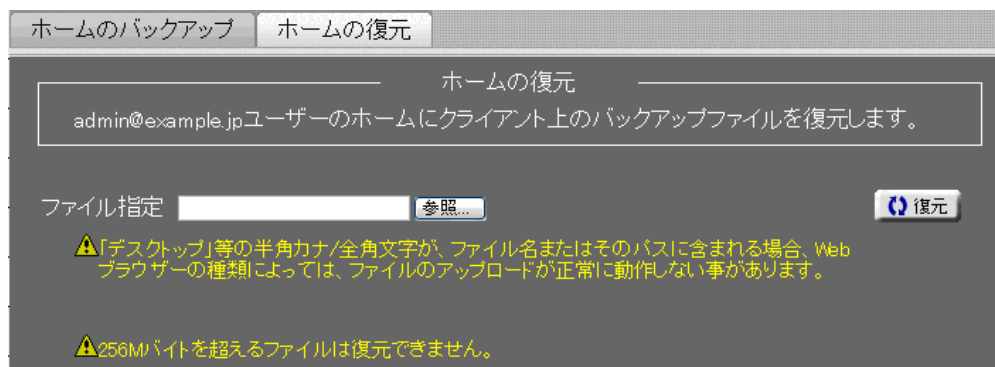
ログインしているユーザーのホームディレクトリ内のファイルをアクセスしているクライアントマシン上にバックアップ及びバックアップの復元がおこなえます。

### ● ホームのバックアップ



画面上に、現在のディスク容量が表示されていますので確認の上、「実行」をクリックしクライアント上の適切なディレクトリを指定して保存をおこなってください。

### ● ホームの復元



復元を行うには、「復元」タブをクリックして画面を表示し、クライアント上のファイルを指定して「復元」ボタンをクリックしてください。



256MB を超えるファイルは復元できません。

## 第3章 バーチャルドメインユーザー機能

### ■ ユーザーステータス

ユーザー名(ログイン名)		admin@example.jp
ホームのディスク使用量	?	268kBytes(制限なし)
メールスプールのディスク使用量	?	0Bytes(制限なし)

ログインしているユーザーのディスク利用状況を表示します。

表示される項目は

- ・ ユーザー名(ログイン名)
- ・ ホームのディスク使用量
- ・ メールスプールのディスク使用量

になります、ドメイン管理者より使用量の制限をされている場合は「/制限値」で表示されます。

### 3. ユーティリティ

#### ■ ファイルマネージャー

ファイルマネージャーを利用すると、FTP クライアントを使用せずにログインしているユーザーの html ファイルをアップロードしたり、自分のホームディレクトリにファイルをアップすることができます。



複数のファイルを同時にアップロードすることはできません。



ファイルのアップロードは 256MB までに制限されています。

### 第3章 バーチャルドメインユーザー機能

- html ファイルをアップロードするには  
画面に表示されている public\_html をクリックしてください。

検索文字列:  一度に表示する項目数: 50

---

全7件  
名前の先頭文字: e-v [全て表示](#)

---
























⚠️ カレントディレクトリにディレクトリを作成するための権限がありません。

⚠️ ファイルをアップロードするための権限がありません。

ディレクトリ圧縮ダウンロード形式:  ▼

---

カレントディレクトリ: /home/lcvirtualdomain/example.jp

名前?	サイズ?	日付?	パーミッション?	アクション?
<a href="#">一つ親のディレクトリに移動</a>	4.10 KB	08年04月24日 21時04分	rwxr-xr-x	  
<a href="#">etc</a>	4.10 KB	08年04月16日 03時10分	rwxr-xr-x	  
<a href="#">htdocs</a>	4.10 KB	08年04月16日 03時10分	rwxr-xr-x	  
<a href="#">htdocs_ssl</a>	4.10 KB	08年04月16日 03時10分	rwxr-xr-x	  
<a href="#">logs</a>	4.10 KB	08年04月20日 04時02分	rwxr-xr-x	  
<a href="#">public_html</a>	4.10 KB	08年04月16日 03時10分	rwxrwxrwx	  
<a href="#">users</a>	4.10 KB	08年04月16日 03時10分	rwxr-xr-x	  
<a href="#">var</a>	4.10 KB	08年04月16日 03時10分	rwxr-xr-x	  

カレントディレクトリが一つ下がって、/home/lcvirtualdomain/ドメイン名/users/ユーザー名/public\_html に変わります。

検索文字列:  一度に表示する項目数: 50

全 2 件

名前の先頭文字: e - i













[全て表示](#)

ディレクトリ作成:

ファイルアップロード:

ディレクトリ圧縮ダウンロード形式:

カレントディレクトリ: /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs

	名前?	サイズ?	日付?	パーミッション?	アクション?
	<a href="#">一つ親のディレクトリに移動</a>	4.10 KB	08年04月25日 21時11分	rwxr-xr-x	  
	<a href="#">example.com</a>	4.10 KB	08年04月24日 23時17分	rwxr-xr-x	  
	<a href="#">index.html</a>	12 バイト	08年04月24日 23時00分	rw-r--r--	  

### 第3章 バーチャルドメインユーザー機能

クライアントに保存しておいた html ファイルを、ファイルアップロードに指定して「アップロード」ボタンをクリックします。

検索文字列:  一度に表示する項目数: 50

---









全1件  
名前の先頭文字: i-j 全て表示

---

ディレクトリ作成:    
ファイルアップロード:     
ディレクトリ圧縮ダウンロード形式:

---

カレントディレクトリ: /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs

名前?	サイズ?	日付?	パーミッション?	アクション?
 <a href="#">一つ親のディレクトリに移動</a>	4.10 KB	08年04月16日 03時10分	rw-r--r--	  
 <a href="#">index.html</a>	12 バイト	08年04月24日 23時00分	rw-r--r--	  

画面にアップロードした html ファイルが表示されればアップロードは成功しています。



トップページを表示させるには、必ず index.html をアップロードしてください。

## ■ ファイルのパーミッションを変更するには

アップロードしたファイルのアクション欄にある「虫メガネ」のアイコンをクリックします。  
選択したファイルの情報が表示されますので、「パーミッション」の適当な欄をチェックして「OK」ボタンをクリックします。

ファイル・ディレクトリの情報

ファイル・ディレクトリの情報を表示します。変更可能な場合はパーミッションの変更を行うこともできます。

**⚠** ファイルの情報を変更する権限がある場合は、「OK」ボタンをクリックするとパーミッションの変更をすぐさま行います。「Cancel」ボタンや「戻る」ボタンをクリックすると何もせずに一覧に戻ります。

---

/home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs/index.html の情報

名前:	index.html
ディレクトリ名:	/home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs
ユーザー名:	admin@example.jp
グループ名:	@example.jp
ブロックサイズ:	16
ファイルサイズ:	12
パーミッション:	<ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> その他のユーザーが実行可能</li><li><input type="checkbox"/> その他のユーザーが書き込み可能</li><li><input checked="" type="checkbox"/> その他のユーザーが読み込み可能</li><li><input type="checkbox"/> グループ内のユーザーが実行可能</li><li><input type="checkbox"/> グループ内のユーザーが書き込み可能</li><li><input checked="" type="checkbox"/> グループ内のユーザーが読み込み可能</li><li><input type="checkbox"/> 自分のみが実行可能</li><li><input checked="" type="checkbox"/> 自分のみが書き込み可能</li><li><input checked="" type="checkbox"/> 自分のみが読み込み可能</li><li><input type="checkbox"/> プログラムコードをスワップに維持</li><li><input type="checkbox"/> 実行時にグループ ID を設定</li><li><input type="checkbox"/> 実行時にユーザー ID を設定</li></ul>

前の画面に戻りますので、パーミッションが変更されているか確認してください。



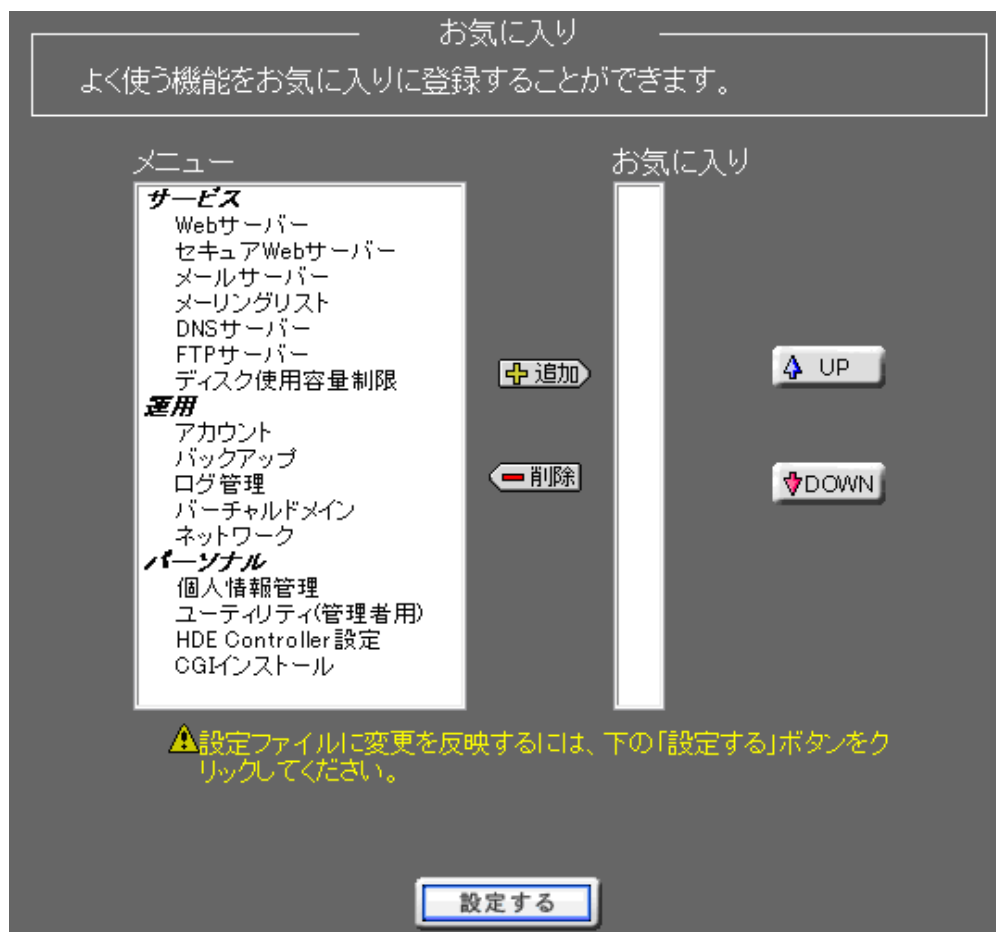
所有者が自分以外のファイルの変更は行えません。

### 4. HDE Controller設定

#### ■ お気に入り

HDE Controller でよく利用するメニューをお気に入りメニューとして登録することができます。

ここで登録されたメニューは常に管理画面の右上に小さいアイコンで表示されるようになり、必要な時にこれをクリックすることで、素早く目的の機能にアクセスすることが可能になります。



お気に入りにメニューを登録したい場合は、登録したいメニューを設定画面の左側のテキストエリアから選択し、「追加」ボタンをクリックします。

お気に入りからメニューを解除したい場合は、解除したいメニューを右側のテキストエリアから選択し、「削除」ボタンをクリックします。

登録したお気に入りの表示順序を変更したい場合は、変更したいメニューを選択し「UP」ボタン、または「DOWN」ボタンで移動させます。

全ての設定が完了したら「設定する」ボタンをクリックして設定を完了させます。



コントロール(Ctrl)キーを利用することで、テキストエリア上の複数のメニューを一度に選択することができます。

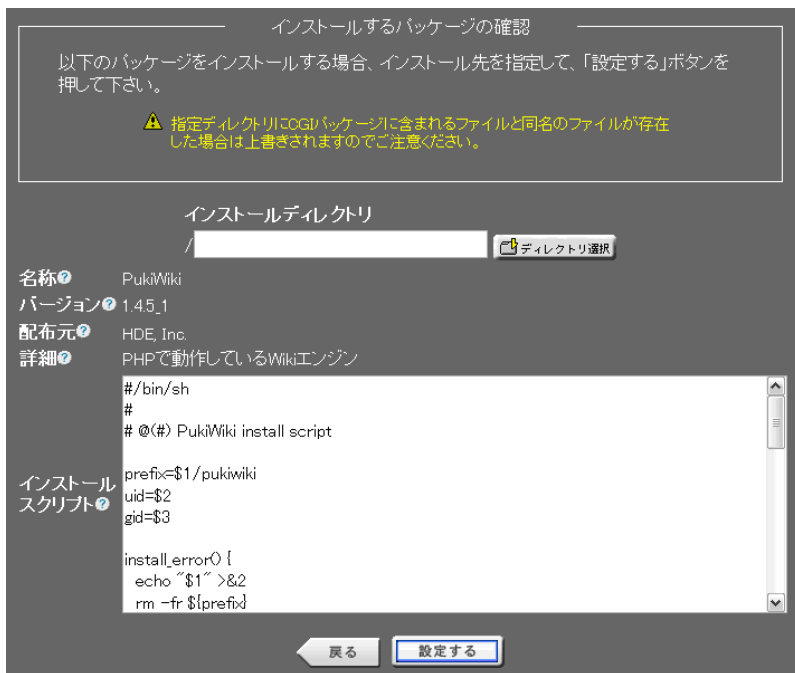
また、シフト(Shift)キーを利用することで、範囲選択をすることも可能です。

### 5. CGIインストール

#### ■ CGIインストール



この画面では各ユーザーが使用する CGI のインストールを行います。インストールを行いたいパッケージの「インストール」ボタンを押すと、インストールするパッケージの確認画面が表示されます。



内容に問題がない事を確認後、インストールディレクトリを指定し、「設定する」ボタンを押すと、指定ディレクトリを基準としてインストールが行われます。

インストールディレクトリの指定は各ユーザーの権限の範囲内でのみ行うことができます。なお、root、ispadmin、lcaadmin ユーザーは全てのディレクトリをインストールディレクトリとして指定することが可能です。インストールスクリプトの実行はログインユーザの権限で行われます。ただし、ispadmin ユーザーの場合は root 権限で実行されます。

インストールディレクトリの権限はあらかじめファイルマネージャ機能等を利用して書き込み可能な状態に設定しておく必要があります。

#### スクリプト実行の危険性について



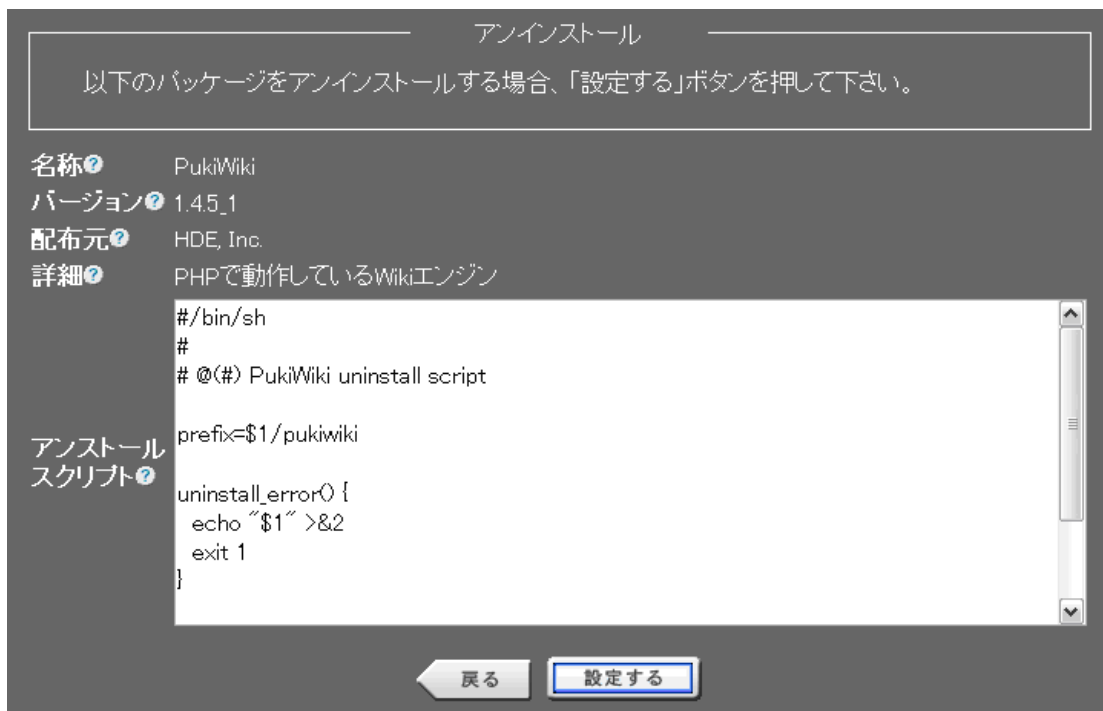
スクリプト内では任意の処理を行う事が可能ですので、内容によっては既存のファイルやディレクトリを破損するなど重大な問題を生じさせる可能性があります。スクリプトに不明な点がある場合には処理を中断し、CGI パッケージの内容を十分に確認してください。ユーザーが作成したスクリプトの処理により不具合が発生しても、当社は一切の責任を負いかねますので、この作業は慎重に行ってください。

## 第3章 バーチャルドメインユーザー機能

### ■ CGI管理



この画面では各ユーザーがインストールした CGI のアンインストールを行います。アンインストールを行うパッケージのそれぞれのボタンを押すと確認画面が表示されます。



内容に問題がない事を確認後、「設定する」ボタンを押すと、アンインストールスクリプトが実行されます。

アンインストールスクリプトの実行はログインユーザーの権限で行われます。ただし、ispadmin ユーザーの場合は root 権限で実行されます。



アンインストールスクリプトの実行にもインストールスクリプトと同様の危険性があります。詳細についてはインストールの項の注意書き「スクリプト実行の危険性について」をご参照ください。

HDE Controller 5 ISP Edition バーチャルドメイン運用ガイド

2008 年 5 月 1 日第一版 5-001

株式会社 HDE

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 16-28 グラスシティ渋谷 11F

